

令和2年6月の入札開始分から制度が変わりました

■暴力団員等や、役員に暴力団員等がいる法人は、買受人となれません。

■暴力団員等から資金の提供を受けた個人・法人は、買受人となれません。

自己の計算において買受けの申出をさせようとする者（買受申出人に資金を渡すなどして買受けをさせようとする者をいいます。）がある場合で、その者が暴力団員等のときは、買受人となれません。

令和2年6月の入札開始分から、入札時に入札書ごとに
下記の各書面を提出する必要があります。

暴力団員等に該当しない旨の **陳述書**（個人・法人を問わず）

※入札時に提出がないと入札無効となります（追完不可）。

※記載に不備があった場合、入札が無効になる場合があります。

※提出後の訂正はできません。

住民票

（個人の場合）

資格証明書

（法人の場合）

※入札時に提出がないと入札無効となります（追完不可）。

※法人の場合は従前どおり資格証明書の提出が必要ですが、個人の場合も住民票の提出が必須になりました。

※住民票は、氏名・住所・生年月日・性別の記載があり、マイナンバーが記載されていないものを提出してください。

※入札する日において発行後3か月以内のものを提出してください。

宅地建物取引業の免許証の写し（宅地建物取引業者の場合）

※有効期限内のものを提出してください。

期 間 入 札 の 公 告

令和 7年 9月11日

福井地方裁判所民事部

裁判所書記官 三 浦 欣 哉

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7年 9月26日から 令和 7年10月 3日まで
開札期日	日 時 令和 7年10月 8日 午前10時00分 場 所 福井地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 7年10月29日 午前 9時50分 場 所 福井地方裁判所民事部
特別売却 実施期間	令和 7年10月 9日から 令和 7年10月10日まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 裁判所の預金口座に所定の金額を振り込んだ旨の保管金受け入れ手続添付書 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限（民事執行規則33条）	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7年 9月11日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和 7 年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	8, 390, 000 6, 712, 000	一括	1, 678, 000	89, 683	0
1	1, 390, 000				
2	7, 000, 000				



物 件 目 録

- 1 所 在 坂井市三国町緑ヶ丘四丁目
地 番 1107番63
地 目 宅地
地 積 205.02平方メートル
- 2 所 在 坂井市三国町緑ヶ丘四丁目 1107番地63
家屋 番号 1107番63
種 類 居宅
構 造 木造合金メッキ鋼板ぶき2階建
床 面 積 1階 50.51平方メートル
2階 52.17平方メートル



物 件 明 細 書

令和 7年 8月13日

福井地方裁判所民事部

裁判所書記官 三 浦 欣 哉

1 不動産の表示

【物件番号1、2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1、2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意



味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。

5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

1 所 在 坂井市三国町緑ヶ丘四丁目

地 番 1107 番 63

地 目 宅地

地 積 205.02 平方メートル

2 所 在 坂井市三国町緑ヶ丘四丁目 1107 番地 63

家屋 番号 1107 番 63

種 類 居宅

構 造 木造合金メッキ鋼板ぶき 2 階建

床 面 積 1 階 50.51 平方メートル
2 階 52.17 平方メートル



令和7年（ケ）第42号
令和7年6月27日受理
令和7年 月 日提出

現況調査報告書

（物件1、2）

福井地方裁判所

執行官 宮川千秋

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|-----------------------------|
| 1 | 所 在 | 坂井市三国町緑ヶ丘四丁目 |
| | 地 番 | 1 1 0 7 番 6 3 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 0 5 . 0 2 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 坂井市三国町緑ヶ丘四丁目 1 1 0 7 番地 6 3 |
| | 家屋番号 | 1 1 0 7 番 6 3 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造合金メッキ鋼板ぶき2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 5 0 . 5 1 平方メートル |
| | | 2階 5 2 . 1 7 平方メートル |

(土地・建物用)

不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	福井県坂井市三国町緑ヶ丘四丁目10番8号	
土地	物件1	
現況地目	☒ 宅地(物件1) ☐ 公衆用道路(物件) ☐ (物件)	
形状	☐ 公図のとおり ☒ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり ☐	
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
下記以外の建物(目的外建物)	☒ ない ☐ ある(詳細は、「目的外建物の概況」のとおり)	
その他の事項	「その他の事項」のとおり	
建物	物件2	
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である。 ☐ 公簿上の記載と次の点異なる(☐ 主である建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類: ☐ 構造: ☐ 床面積:	
物件目録にない附属建物	☒ ない 種類: ☐ ある 構造: 床面積:	
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を 居宅(空き家) として占有している。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
上記以外の敷地(目的外土地)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)	
その他の事項	「その他の事項」のとおり	
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ 福井地方裁判所 支部 令和 年() 第 号 ☐ ある 保管開始日 令和 年 月 日	
土地建物の位置関係	☒ 建物図面(各階平面図)のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

(その他の事項用)

そ の 他 の 事 項

土地(物件1)

- 1 本土地の状況は、別紙土地建物位置関係図及び添付写真のとおりである。
- 2 本土地の南角付近及び東角付近には境界標と思われる金属板が、北角付近及び西角付近には境界標と思われる金属板が、それぞれ存在する。
- 3 本土地は、南東側境界が市道に接面している。
- 4 本土地内は、南部が駐車場で、他が建物敷地になっており、駐車場部分と建物敷地部分に高低差がある。駐車場部分は本土地南東側の市道と等高であり、建物敷地部分は市道より約1.9メートル高い。
- 5 本土地とその北西側に隣接する2143番13土地の境界付近には、同土地に、本土地の建物敷地部分から高さ約1.3メートルのコンクリート擁壁が存在し、2143番13土地は、そのコンクリート擁壁より更に高くなっている。
- 6 本土地は、土砂災害警戒区域に位置する。
- 7 本土地の東角付近には西日本電信電話株式会社所有の電柱が設置されており、同社は土地使用料としてAに対し年間1,500円の3年分を前払いすることになっているところ、令和6年に同社からAへ発送された郵便物が不達となったため、その支払いは停止している。

建物(物件2)

- 1 本建物の状況は、別紙土地建物位置関係図、建物間取図及び添付写真のとおりである。
- 2 本建物の1階LDKは、天井のクロスが一部分剥がれている。
- 3 本建物の2階西側洋室は、壁紙に汚れが見られる。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(関係人の陳述等用)

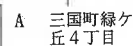
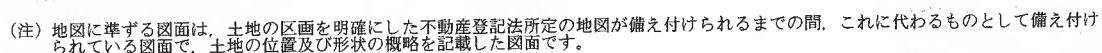
関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ A (債務者兼所有者)	1 私は、本件物件の所有者です。 2 本件物件は、現在、空き家です。誰にも貸していません。 3 本件物件は、不動産業者に売却を依頼しています。家の鍵は、私も1個持っていますので、立入調査に立ち会うことができます。 (令和7年7月2日に電話聴取) 4 本件土地は、境界に争いはありません。 5 本件建物は、新築後、増改築及び修繕を行っていません。 6 本件建物は、オール電化です。IHコンロで、ヒートポンプ給湯機です。太陽光発電システムや床暖房はありません。 7 本件建物に破損はありません。傾き也没有ありません。 8 本件建物で火災やボヤを生じたことはありません。 9 本件建物に雨漏りはありません。白アリも見えていません。 10 本件建物で自殺、不自然死、事故死で亡くなった人はありません。 11 本件建物内で、平成30年に新築した後から数年間、ゲージで小型犬を飼っていたことがあります。 12 本件物件の所在地は、土砂災害警戒区域にあります。 (令和7年7月11日に口頭聴取)
■ 西日本電信電話株式会社	1 本件土地の南角付近には、当社所有の電柱1本(緑住宅幹10R4R2R3(本柱))が設置してあります。 2 当社は、上記電柱の土地使用料として、Aに対し、年間1,500円の3年分を前払いすることになっていますが、令和6年に当社からAへ発送した郵便物が不達となったため、その支払いが停止しています。 (令和7年7月11日付け回答者要旨)

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(調査経過用)

調 査 の 経 過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和7年 6月30日(月) 9:00- 9:15	福井地方法務局	公簿、公図、地積測量図、建物図面等の交付請求等
令和7年 7月 1日(火) 15:25-15:40	物件所在地	現況調査 写真撮影 占有関係の調査 賃借関係の調査
令和7年 7月 2日(水) 13:10-13:15	当庁	Aから電話聴取
令和7年 7月11日(金) 10:00-11:05	物件所在地	評価人と同行 立入調査(全室)・現況調査 写真撮影・占有関係の調査 賃借関係の調査
令和 年 月 日() : - :		
令和 年 月 日() : - :		
令和 年 月 日() : - :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり



これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

公用

登記年月日：平成19年12月21日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年6月30日 福井地方支務局

登記官

(7枚目)

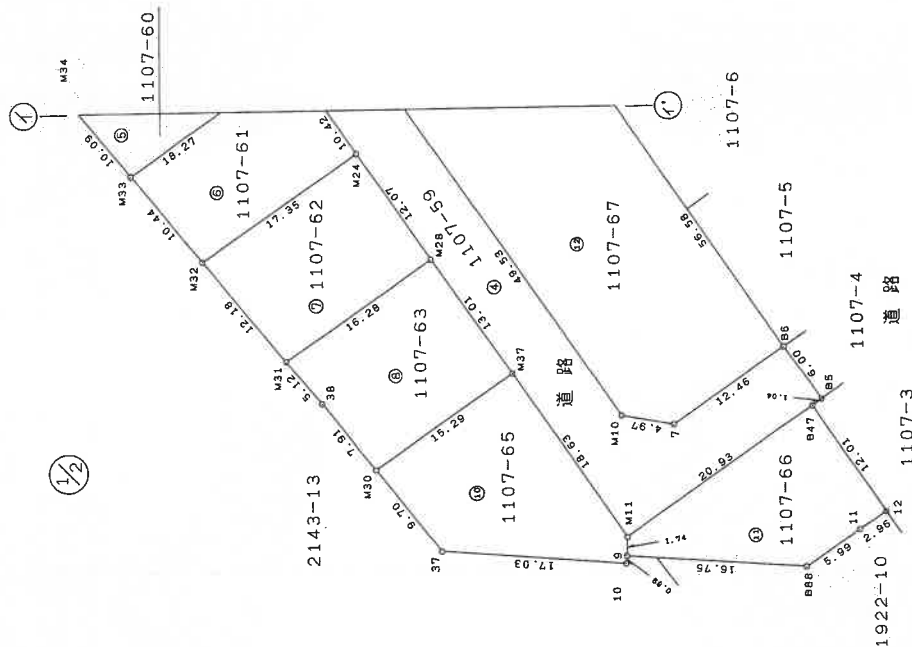
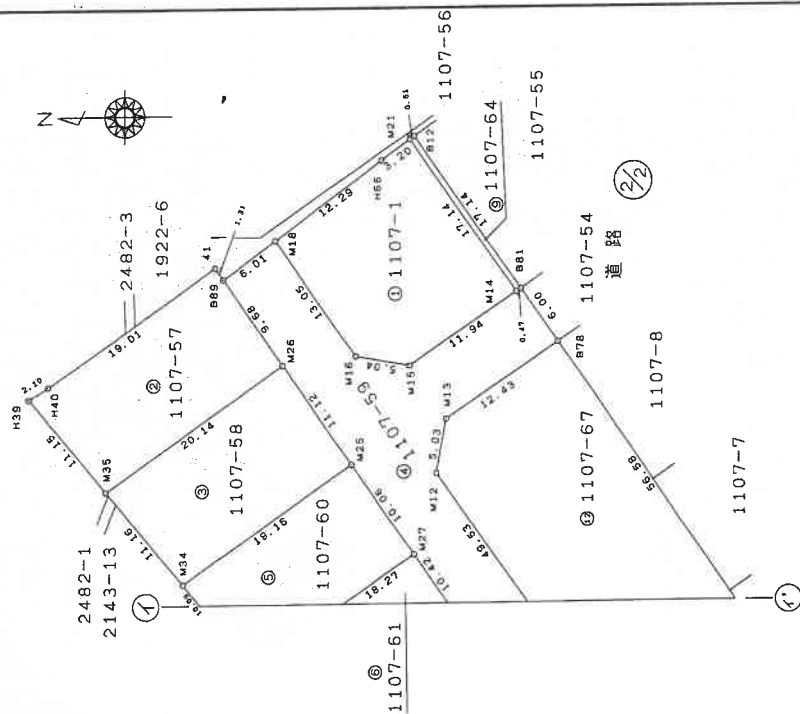
A4判に縮小

地積測量図

地番
1107番地
1107番地57から1107番地67

土地の所在
坂井市三国町緑ヶ丘4丁目

2112-8



筆界点 刻み (L型溝) M26, M25, M27, M24, M28, M37
金属鉄 M30, M31, M32, M33, M34, M35, B89, M18
赤ペンキ M16, M15, M13, M12, M10, 7, M11
12, 11, B88, 9, 10, 37, 38, H39, H40, 41, H66, M21
B81, M14, B78, B6, B5, B47

申請人

(平成19年12月16日作製)

作製者

縮尺 1/500

登記年月日：平成30年5月30日

公用

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年6月30日 福井地方方法務局

登記官

(8枚目)

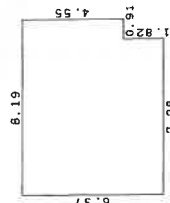
各階平面図

建物図面
各階平面図

家屋番号 1107番63

建物の所在 坂井市三國町森ヶ丘四丁目1107番地63

1階

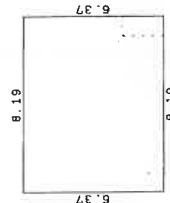


求積表

0.91 x 4.55 = 4.1405
7.28 x 6.37 = 46.3736
計 50.5141

床面積 50.51 m²

2階



求積表

8.19 x 6.37 = 52.1703

床面積 52.17 m²

2143-13

1.7m
1107-65

1107-63

1107-62

1107-59



報告書NO.1800642

作成

縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/500

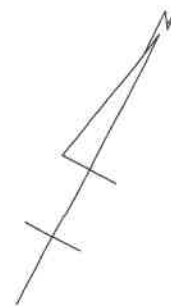
(福井県土地家屋調査士会用紙)

A4判に縮小

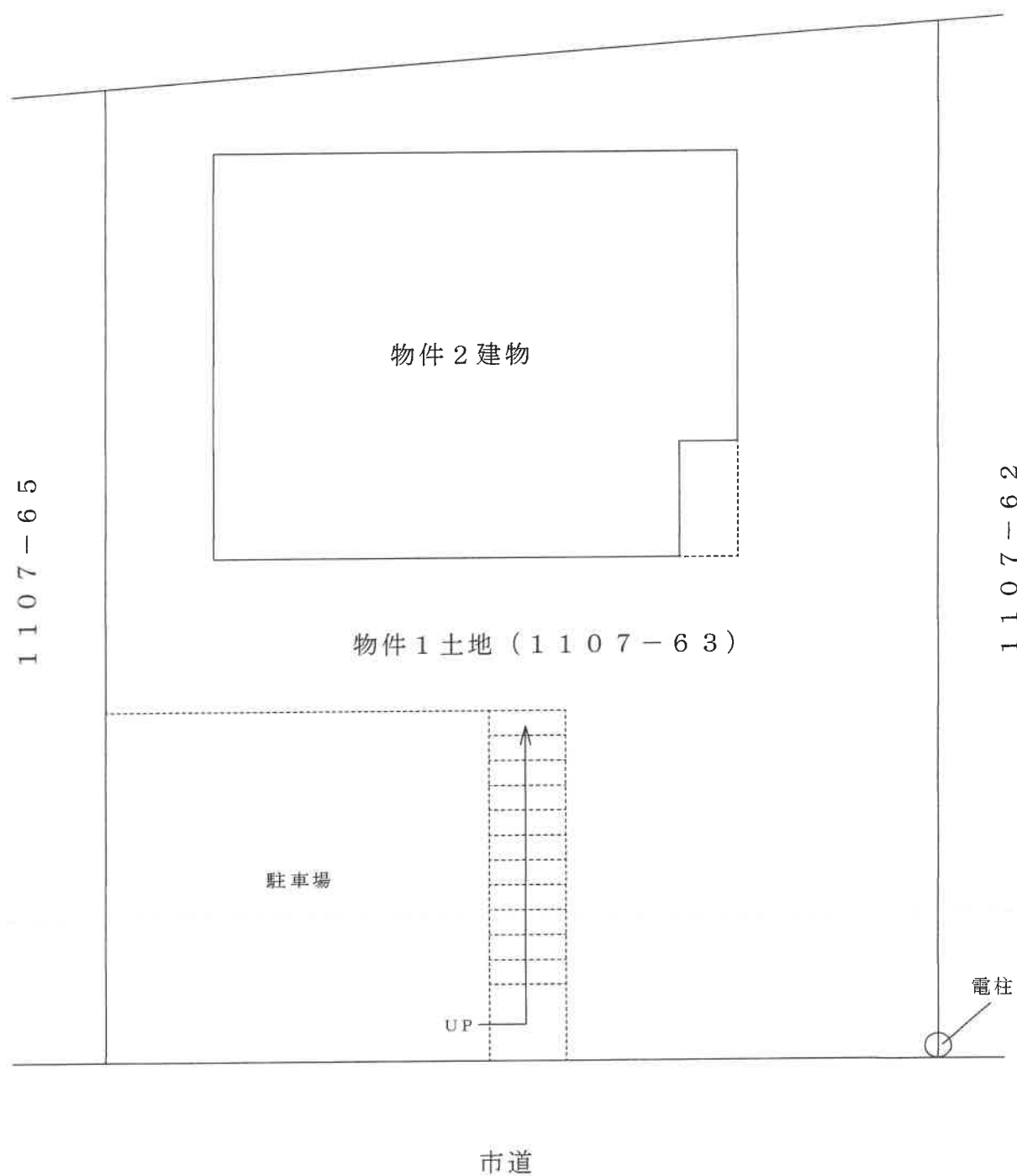
請求番号：5-8

土地建物位置関係図

(写真撮影位置説明図)



2 1 4 3 - 1 3



1107-65

1107-62

物件2建物

物件1土地 (1107-63)

駐車場

UP

電柱

市道

②

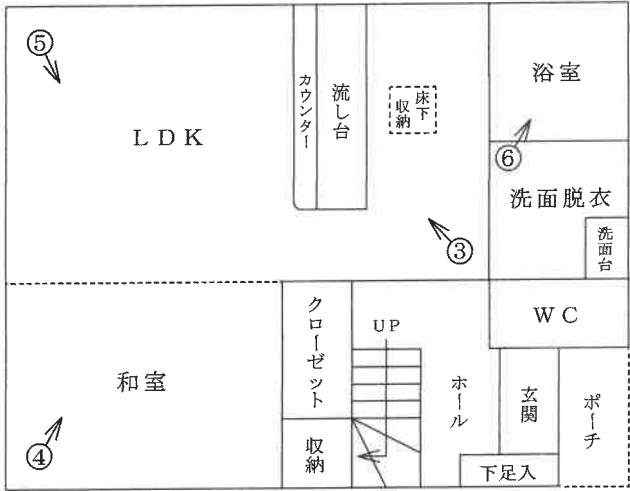
←○写真撮影位置・方向

(9 枚目)

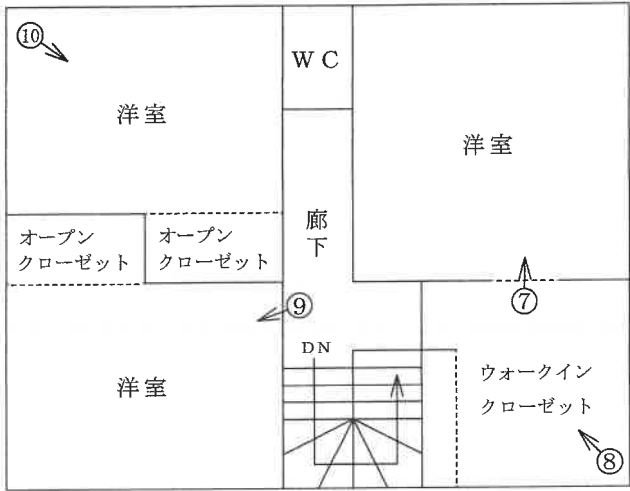
建 物 間 取 図

(写真撮影位置説明図)

1 階



2 階



←○写真撮影位置・方向

写真番号 1

本件競売物件の全景を撮影



写真番号 2

本件競売物件の全景を撮影



写真番号 3

物件2建物の内部（1階LDKの台所）を撮影



写真番号 4

物件2建物の内部（1階LDKの居間・食堂）を撮影



写真番号 5

物件2建物の内部（1階の和室）を撮影



写真番号 6

物件2建物の内部（1階の浴室）を撮影



（ 13 枚目）

写真番号 7

物件2建物の内部（2階北側の洋室）を撮影



写真番号 8

物件2建物の内部（2階東側のウォークインクローゼット）を撮影



写真番号 9

物件2建物の内部（2階南側の洋室）を撮影



写真番号 10

物件2建物の内部（2階西側の洋室）を撮影



令和 7 年 (ケ) 第 42 号
令和 7 年 7 月 11 日 現地調査
令和 7 年 7 月 29 日 評価

福井地方裁判所 御中

評価書

評価人 不動産鑑定士

山田 恭央 印

第1 評価額

一 括 価 格	
金 8,390,000 円	
内 訳 価 格	
物件1(土地)	金 1,390,000 円
物件2(建物)	金 7,000,000 円

1. 一括価格は、物件1,2の各不動産について、一括売却(民事執行法61条本文)を行うことを前提とした場合の価格である。
2. 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
3. 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

1. 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約(売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、競売の目的物の種類又は品質に関する不適合については担保責任がないこと等)等の特殊性を反映させた価格とする。
2. 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については考慮していない。
3. 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
4. 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記と同じ

番 号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	坂井市三国町緑ヶ丘4丁目 1107番63 宅地 205.02m ²	左記に同じ。
2	所 在 家 屋 番 号 種 類 構 造 床 面 積	坂井市三国町緑ヶ丘4丁目1107番地63 1107番63 居宅 木造合金メッキ鋼板ぶき2階建 1階 50.51m ² 2階 52.17m ² 合計 102.68m ²	左記に同じ。
番 号	特 記 事 項		
1, 2	特になし		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等(物件1)

位 置 ・ 交 通		えちぜん鉄道三国芦原線「三国」駅より 北 約 2.1 km (道路距離)	
付 近 の 状 況		中規模の一般住宅が建ち並ぶ高台の住宅地域	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)		都 市 計 画 区 分 用 途 地 域 建 ぺ い 率 容 積 率 防 火 規 制 そ の 他 の 規 制	非線引都市計画区域 第一種低層住居専用地域 50% 80% なし 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)
画地条件	地 積 間 口 奥 行 形 状	205.02 m ² 約 13.0 m 約 15.8 m ほぼ台形	
接面道路の状況		南東側 約6m舗装市道(建築基準法第42条1項に該当) 高低差 南東側市道から0m～約1.9m高く接面	
土地の利用状況等		物件2の敷地として利用されている。 隣接不動産の状況は北東側は空地、南西側は一般住宅、南東側は市道を介して一般住宅、北西側は法面を介して太陽光発電所として利用されている。	
供給処理施設	上 水 道 ガ ス 配 管 下 水 道	前面道路に本管あり 前面道路に本管なし 前面道路に本管あり	
特 記 事 項		・土壌汚染の可能性について調査したところ、有害物質使用特定施設の届出はなく、過去の空中写真(昭和50年・平成20年)からは、従来は山林であったものを平成20年前後に宅地化したものと推定され、土壌汚染の可能性は低いものと思料する。 ・物件1の東角付近の北東側隣接地との境界線上には電柱が介在している。	

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・物件1の敷地内南部は駐車場として利用。当該部分と建物敷地部分は高低差(約1.9m)が存する。なお、駐車場部分は市道と等高であるが、建物敷地部分は市道や隣接地との間に高低差があり、フェンス等が介在している。・物件1の北西側隣接地(太陽光設備が設置)との間にはコンクリート擁壁(約1.3m)が設置されており、隣接地内の太陽光設置地盤面までは法面(高さ約4m)が存する。 |
|--|

※ 供給処理施設における「あり」とは、目的物件の前面道路に該当施設の本管(以下、施設管という)が通っており、通常
の費用で敷地内への引込が出来る状態にあることをいう。「なし」とは、目的物件を含めた周辺に施設管が配置されて
おらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわ
らず供給処理施設を利用している場合や、役場での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用で
きるかどうか不明な場合をいう。

2 建物の概況及び利用状況(物件2)

区 分		主である建物
建 築 時 期 及 び 経 済 的 残 存 耐 用 年 数		建築年月日（登記記載） 平成30年5月28日 新築 経過年数 7 年 経済的残存耐用年数 15 年
仕 様	構 造	木造
	屋 根	合金メッキ鋼板葺
	外 壁	サイジング
	内 装	ビニールクロス、樹脂系パネル
	天 井	ビニールクロス、樹脂系パネル
	床	ビニールシート、畳、磁器質タイル
	設 備	電気、給水、排水、衛生設備、エコキュート
	そ の 他	なし
床 面 積（ 現 況 ）		第3の目的物件欄記載のとおり。
現 況 用 途 等		現況用途 居宅 間 取 り 間取図のとおり
品 等		概ね普通
保 守 管 理 の 状 態		内装の壁や天井のクロスの一部に汚れや破損が見られるが、建物内部の保守管理の状態は概ね普通である。
建 物 の 利 用 状 況		現況調査報告書記載のとおり。
特 記 事 項		・アスベスト含有吹付け材については目で見える部分については使用されていない。また、成形板等の建材についてはアスベスト含有の有無は不明である。 ・部屋ごとに趣向を凝らしたクロスや照明が設置されている。

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 建付地価格(物件1)

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格差 イ	地積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ
1	18,100	0.92	205.02	0.97	3,310,000

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価調査 坂井(県)－4

$$\begin{array}{ccccccccc} \text{公示価格等} & & \text{時点修正} & & \text{標準化補正} & & \text{地域格差} & & \text{標準画地価格} \\ 29,200 \text{ 円/㎡} & \times & 98 / 100 & \times & 100 / 102 & \times & 100 / 155 & \div & 18,100 \text{ 円/㎡} \end{array}$$

◇ 時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇ 標準化補正： 方位 1.02

◇ 地域格差： 街路条件 1.00 交通接近条件 1.03
(相乗積) 環境条件 1.50 行政的条件 1.00

イ 個別格差： 高低差 0.95 方位 1.03
(相乗積) 周囲の状況 0.95 電柱介在 0.99

ウ 地積：登記数量による

エ 建付減価：建物と敷地との適応の状態等を考慮した。

② 建物価格(物件2)

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向等を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

物件 番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物価格 (円) ア×イ×ウ
2	165,000	102.68	0.63	10,670,000

ウ 現価率：耐用年数に基づく方法(定額法)と観察減価法を併用し、現価率を査定した。

経過年数 7 年

経済的残存耐用年数 15 年

観察減価 10%

残価率 5%

- ・ 現価率 = { 残価率 0.05 + (1 - 0.05) × (経済的残存耐用年数 15 年 / 経過年数 + 経済的残存耐用年数 22 年) } × (1 - 観察減価等 0.10) ÷ 0.63

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

物件 番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ
1	3,310,000	0.30	法定地上権	990,000

イ 土地利用権等割合：土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を30%と査定した。

② 内訳価格及び一括価格

物件 番号	基礎となる価格 (円) (1①、1②) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) (2①) イ	占有 減価 修正 ウ	市場性 修正 エ	競売市場 修正 オ	その他 の控除 カ	評価額 (円) (万円未満四捨五入) (ア+イ)×ウ×エ×オ×カ
1	3,310,000	-990,000		1.0	0.6	1.00	1,390,000
2	10,670,000	990,000	—	1.0	0.6	1.00	7,000,000
一括価格（合計）							8,390,000

ウ 占有減価修正： 必要なし

エ 市場性修正： 特になし

オ 競売市場修正： 競売手続の特殊性及び売却条件に伴う競売固有の減価を考慮

カ その他の控除： 特になし

第6 参考価格資料

地価調査価格	坂井(県)ー4
所 在	坂井市三国町緑ヶ丘4丁目1210番36
住 居 表 示	三国町緑ヶ丘4ー7ー10ー7
価 格	29,200 円/㎡
位 置	「三国」駅 約1.1km
価 格 時 点	令和6年7月1日
地 積	231 ㎡
供給処理施設	水道・下水
接 面 街 路	南西6m舗装市道に接面
用 途 指 定 等	非線引都市計画区域 第1種住居地域 建ぺい率 60% 容積率 200%
地 域 の 概 要	中規模の一般住宅が建ち並ぶ高台の住宅地域

第7 附属資料

- ① 所在位置略図
- ② 位置図
- ③ 現況見取図
- ④ 建物間取図

【付記】

本評価書末尾に添付された資料以外の資料については、現況調査報告書に添付されている資料と同一である

以 上

福井県坂井市三国町緑ヶ丘4丁目 付近

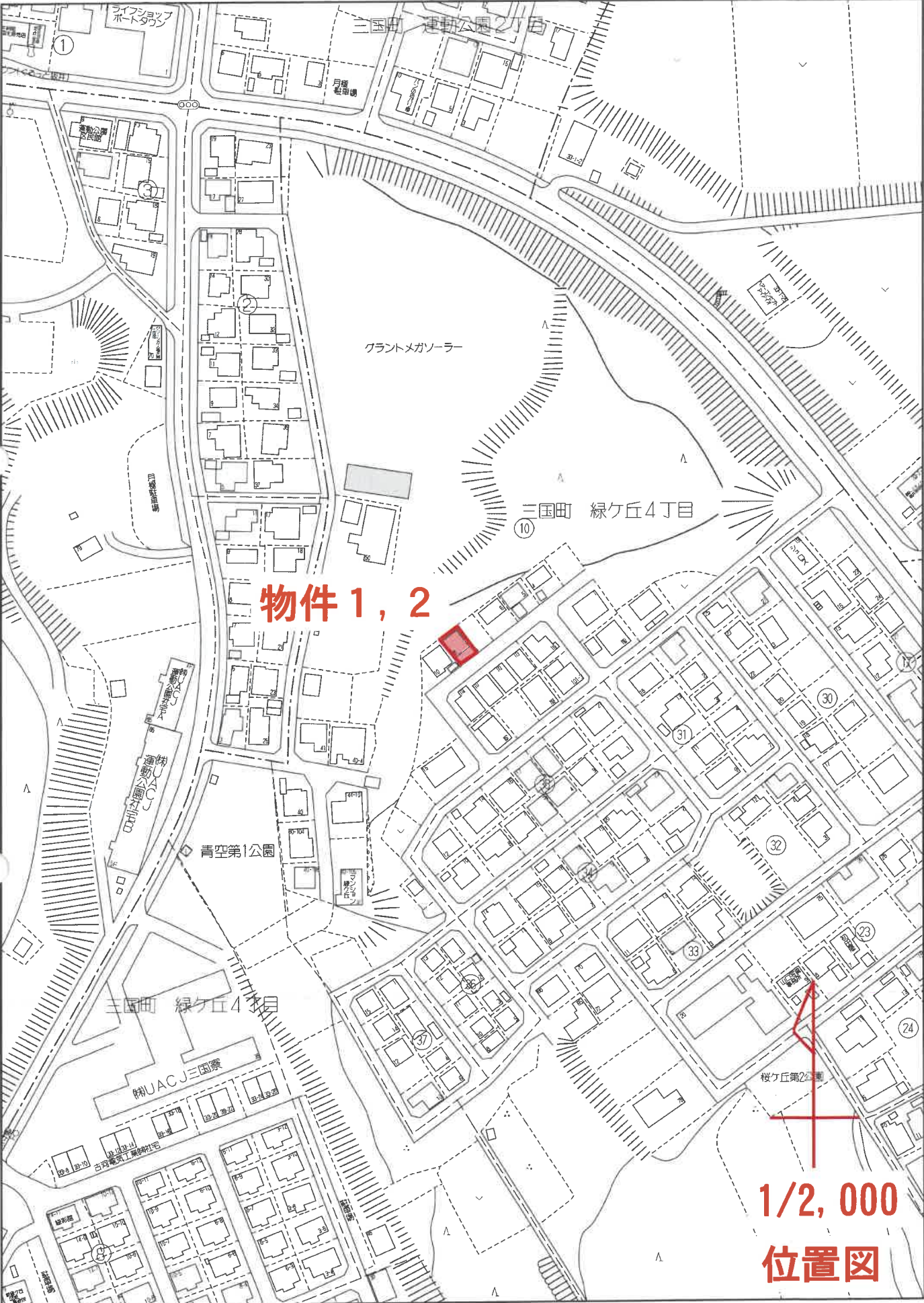


脇



1 : 8,000 相当

地図上の1センチは約 80 メートル
印刷中心は 東経 136度 9分 4秒 北緯 36度13分21秒



2143-6

2119-6

2135-1

2143-13

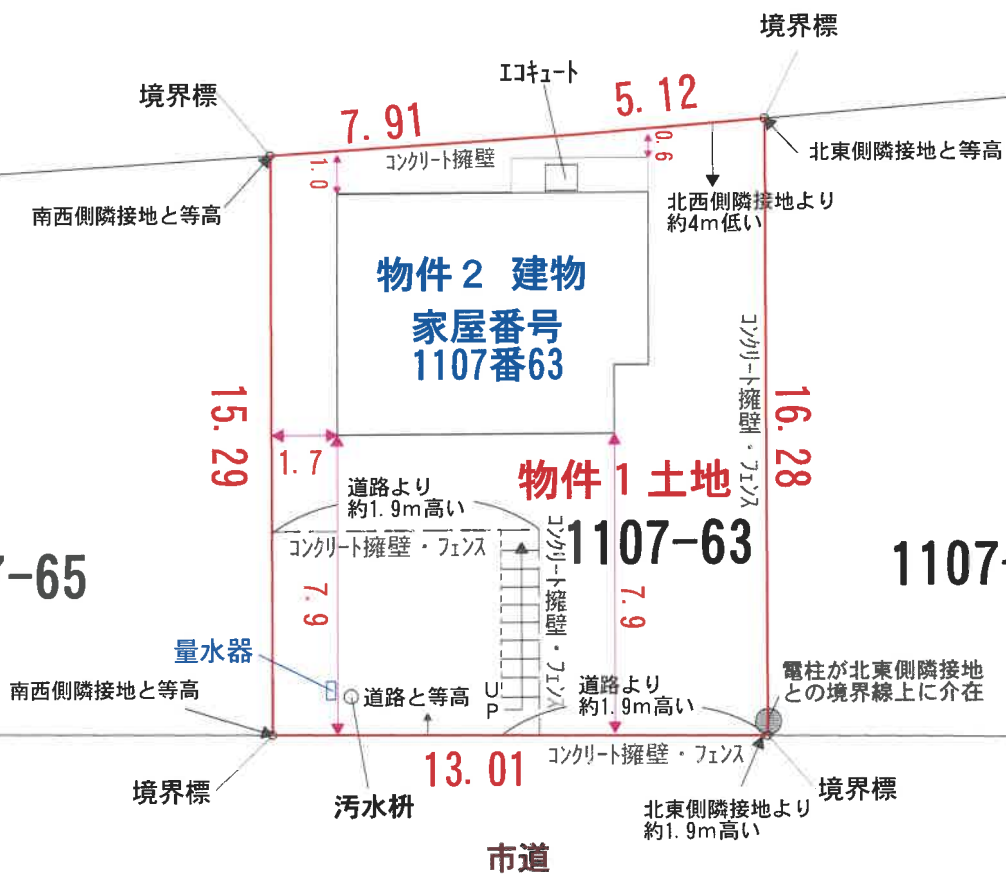
1107-65

1107-62

1107-67

1107-68

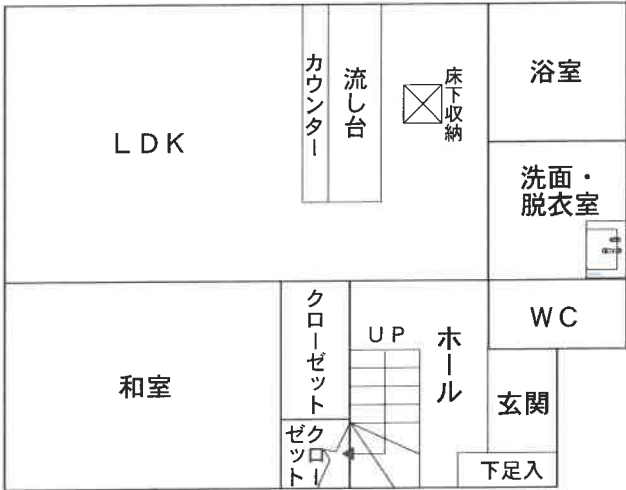
1107-69



当該図面は土地と建物とのおおよその関係を図示したものであり、境界を確定したものではない。

1/200
現況見取図

1 階



2 階

